

開講年度	令和6年度	開講課程	博士後期課程
授業名	医療薬学特別演習		
開講キャンパス	伏虎	教室	各研究室
科目区分	特別科目	配当年次	1～2年次
必修・選択の別	選択	単位	2単位
対象学生	—	使用言語	日本語
キーワード	(医療薬学) 医療薬学、医療薬科学 (薬品作用学) 薬理学、生命科学		
担当教員 (下線：科目責任者)	医		
	薬		
	(医療薬学) 教授 <u>赤池昭紀</u> (薬品作用学) 教授 新谷紀人、講師 岩田圭子		
授業の概要	医療薬学、薬品作用学の各分野において講義及び演習を行う。最新の論文を詳読し研究動向を学び、研究データの発表、議論を行うことで、幅広い視点から考察し意見を述べる能力を養い、研究結果の解釈法や発表方法について学ぶ。		
到達目標	<p>(医療薬学) 医療薬学分野において最新の論文を詳読し研究動向を学び、研究データの発表、議論を行うことで、幅広い視点から考察する能力を養い、研究結果の解釈法や発表方法を身につける。</p> <p>(薬品作用学) 薬理学・生命科学に関する原著論文の内容を理解できる。原著論文の紹介や、自身のまとめた研究データの発表、議論を効果的に行うことができる。</p>		
授業計画	<p>(医療薬学) 週1回程度の文献抄読会、データ検討会を行う。(赤池昭紀)</p> <p>(薬品作用学) 週1回程度の文献抄読会、データ検討会を行う。(新谷紀人/岩田圭子)</p>		
授業の方法・形態	演習を中心とする。		
使用するメディア	パワーポイント等によるスライド資料を使用する。		
成績評価の基準	研究への取組100% (討議内容、ディスカッションへの参加姿勢、研究技能の修得状況、発表内容など) によりS (90点以上)、A (80～89点)、B (70～79点)、C (60～69点)、D (59点以下) の5段階で評価し、C以上を合格とする。		
授業時間外の学修に関する指示	教科書・参考書が指定されている場合は予習を行うとともに、各回終了後には復習を行うこと。そのほか、各担当教員の指示に従うこと。		

オフィスアワー（学生からの質問事項等への対応）	担当教員により異なるため、希望する場合はメール又は電話により予約すること。
教科書・参考書	特に指定しない。